

令和4年度5月定例記者会見 次第

日時：5月26日（木）10時00分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部課（総務部）総務課、（経営戦略部）財政課、
（経済振興部）学研都市づくり課、ブランド政策課、
（子ども教育部）学校教育課

1 市長あいさつ

2 案件

（1）市長発表

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ①令和4年糸島市議会6月定例会提出議案について | 総務課 |
| ②令和4年度6月補正予算の概要について | 財政課 |
| ③糸島サイエンス・ヴィレッジ ローカル5Gの環境整備について | 学研都市づくり課 |

（2）その他

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ①多文化共生推進に向けた事業の実施について | |
| ➤ 「人権教育の手引き4」の作成 | 学校教育課 |
| ➤ いこっか事業「中学生と留学生の課題解決ワークショップ」 | 学研都市づくり課 |
| ②糸島映画「猫の記憶」製作スタート | ブランド政策課 |

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）
日時：6月24日（金）13時30分～
場所：糸島市役所 庁議室

令和4年糸島市議会第2回定例会提出議案について

☆ 6月2日から開会予定の糸島市議会第2回定例会に付議する議案を、本日送付いたしました。

☆ 案件といたしましては、議案第67号「糸島市企業版ふるさと納税基金条例について」から議案第75号「令和4年度糸島市下水道事業会計補正予算（第1号）」までの9議案のほか、報告6件を提案させていただくこととしております。

※提出議案 9件

◇ 条例議案〔3件〕

【新規条例2件】

糸島市企業版ふるさと納税基金条例について

糸島市二見ヶ浦駐車場条例について

【一部改正条例1件】

糸島市交流体験広場条例の一部を改正する条例について

◇ その他の議案〔3件〕

市が管理する道路の陥没による車両転倒事故の損害賠償及び和解について

糸島市における市街地の区域の変更及び当該区域における住居表示の方法について

市道路線の認定について

◇ 補正予算〔3件〕

令和4年度糸島市一般会計補正予算（第3号）

令和4年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

令和4年度糸島市下水道事業会計補正予算（第1号）

※報告 6件

◇ 糸島市土地開発公社の経営状況について

株式会社志摩海洋センターの経営状況について

令和3年度糸島市一般会計継続費繰越計算書の報告について

令和3年度糸島市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和3年度糸島市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

令和3年度糸島市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

☆ 議案の内容といたしましては、次のとおりです。

●条例議案（３件）

〔新規（２件）〕

【企画秘書課】

議案第６７号 糸島市企業版ふるさと納税基金条例について

※ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に要する経費の財源に充てるため、糸島市企業版ふるさと納税基金を設置するもの。

【ブランド政策課】

議案第６８号 糸島市二見ヶ浦駐車場条例について

※ 桜井二見ヶ浦周辺の道路交通の円滑化と良好な駐車環境の提供により、市民及び観光客の利便性の向上を図るため、糸島市二見ヶ浦駐車場を設置するもの。

〔一部改正（１件）〕

【農業振興課】

議案第６９号 糸島市交流体験広場条例の一部を改正する条例について

※ 糸島市交流体験広場のうち体験農園の利用範囲の拡大を図るため、条例を改正するもの。

●その他の議案（３件）

【建設課】

議案第７０号 市が管理する道路の陥没による車両転倒事故の損害賠償及び和解について

※ 市が管理する道路の陥没による車両転倒事故の損害を賠償するに当たり、議会の議決を求めるもの。

【市民課】

議案第７１号 糸島市における市街地の区域の変更及び当該区域における住居表示の方法について

※ 住居表示を実施するに当たり、市街地の区域を変更することに伴い、議会の議決を求めるもの。

【建設課】

議案第７２号 市道路線の認定について

※ 市道路線（２路線）を認定するため、議会の議決を求めるもの。

●令和４年度補正予算（３件）

【財政課】

議案第７３号 令和４年度糸島市一般会計補正予算（第３号）

※ 今回の補正：11億1,850万円を追加し、予算総額449億4,378万円とする。

【別途財政課作成資料あり】

【介護・高齢者支援課】

議案第７４号 令和４年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）

※ 今回の補正：360万円を追加し、予算総額89億3,773万5千円とする。

【業務課】

議案第７５号 令和４年度糸島市下水道事業会計補正予算（第１号）

※ 今回の補正：資本的収入及び支出の既決予定額の補正等

●報告（６件）

【商工振興課】

報告第２号 糸島市土地開発公社の経営状況について

※ 本市が出資している団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、議会に提出するもの。

【水産林務課】

報告第３号 株式会社志摩海洋センターの経営状況について

※ 本市が出資している団体の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、議会に提出するもの。

【財政課】

報告第４号 令和３年度糸島市一般会計継続費繰越計算書の報告について

※ 新庁舎整備事業ほか３事業を翌年度に繰り越したため、地方自治法施行令第145条第1項の規定により、議会に報告するもの。

（総額69,027,770円）

・新庁舎整備事業	2,183,000円
・南風コミュニティセンター改修事業	8,844,000円
・波多江小学校校舎大規模改造事業	3,178,960円
・前原南小学校校舎大規模改造等事業	54,821,810円

【財政課】

報告第５号 令和３年度糸島市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

※ 運動公園整備事業ほか２５事業を翌年度に繰り越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、議会に報告するもの。

(総額 2,984,141,146 円)

・運動公園整備事業	1,193,736,000円
・エネルギー構造高度化・転換理解促進事業（コミュニティセンター改修事業）	5,112,000円
・住民税非課税世帯等臨時特別給付事業	448,867,446円
・民間保育所施設整備事業	258,369,000円
・子育て世帯臨時特別給付事業	10,022,000円
・強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業	125,800,000円
・防災重点農業用ため池防災対策推進事業	40,000,000円
・林業専用道整備事業	3,840,000円
・カキ小屋整備事業	210,748,000円
・浦志高等学校線整備事業	9,000,000円
・浦志有田線整備事業	31,796,300円
・（仮称）岐志芥屋3号線整備事業	17,000,000円
・小町2号線整備事業	13,690,000円
・新開桂木線ほか1路線整備事業	57,636,000円
・雷山線整備事業	27,690,000円
・交通安全施設整備事業	9,531,500円
・加布里停車場線歩道設置事業	36,971,000円
・自転車通行空間整備事業	57,572,100円
・橋梁長寿命化修繕事業	17,932,800円
・丸田池公園伊都恋い橋改修事業	19,967,000円
・市営第2東縄手団地改修事業	44,064,000円
・小学校トイレ改修事業	84,948,000円
・可也小学校屋内運動場屋根改修事業	85,976,000円
・小学校校舎外壁改修事業	28,138,000円
・令和3年8月豪雨災害復旧事業（農業用施設災害復旧事業）	73,800,000円
・令和3年8月豪雨災害復旧事業（林業施設災害復旧事業）	71,934,000円

【財政課】

報告第6号 令和3年度糸島市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

※ 新型コロナウイルス感染症対策事業（前原西中学校トイレ改修事業）ほか1事業を翌年度に繰り越したため、地方自治法施行令第150条第3項の規定により、議会に報告するもの。

(総額 67,736,100 円)

・新型コロナウイルス感染症対策事業（前原西中学校トイレ改修事業）	45,958,000円
・令和2年7月豪雨災害復旧事業	21,778,100円

【業務課】

報告第7号 令和3年度糸島市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

※ 水道事業を繰り越したため、地方公営企業法第26条第3項の規定により、議会に報告するもの。

・水道事業

31,801,000円

◆問合せ先

総務部 総務課 (担当：藤嶋)

TEL 323-1111 (代表) 内線1210

332-2100 (直通)

令和4年度補正予算(第3号)の概要 (令和4年 第2回定例会)

■一般会計補正予算（第3号）

補正額 11億1,850万円の追加

補正後予算総額 449億4,378万円

令和4年度当初予算は、令和4年1月30日に市長選挙を控えていたため、義務的経費や既に着手している継続事業を中心とした「骨格予算」で編成していました。

今回の補正予算は、「肉付け予算」として、新規事業や政策的経費等に加え、市長就任後に策定された「公約実現化プラン」に掲げられた事業のうち、早期に着手すべき事業を中心とした予算編成としています。

■特色 ～ワンランク上のまちづくりの実現に向けた予算編成～

肉付け予算のうち「第2次糸島市長期総合計画」に掲げる「ワンランク上のまちづくり」の実現に向けて、6つのまちづくりの基本目標、公約実現化プランに掲げる11の公約を確実に実行していくための施策を重点的に、いち早く取り組む事業として、63の新規・拡充事業に総額約6億6千万円を予算計上しています。

また、国の令和4年度予備費に伴い、新たに追加された事業等についても本補正予算に計上しています。

■補正後のすがた ～過去最大規模の令和3年度当初予算をさらに更新～

令和4年度6月(第3号)補正後の予算規模は、令和3年度当初予算と比較すると46億1,235万円、11.4%の増となっています。

<予算規模>

(単位：千円)

令和4年度			令和3年度	比較 (A-B)
当初予算額 【骨格】	6月(第3号)補正額 【肉付け】	補正後予算額 (A)	当初予算額 (B)	
43,502,892	1,118,500	44,943,780	40,331,429	4,612,351

※補正後予算額は、令和4年度補正予算（第1号、第2号）を含みます。

■補正予算の主な事業

1 まちづくりの基本目標、公約実現化プランを確実に実行するための事業

(基本目標①)未来社会で輝く子どもを育むまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	07	その他企画費	いとしまSDGs再発見プロジェクト事業	1,758		情報政策課
03	02	02	子ども・子育て支援事業費	保育所等ICT化推進事業	975	2-1	子ども課
03	02	02	待機児童緊急対策事業費	保育士奨学金返済支援事業	3,240	2-1	子ども課
04	01	02	母子保健事業費	新生児聴覚検査助成事業	3,509	2-2	子育て支援課
10	01	02	事務局費	学校施設図面電子データ化事業	16,547		教育総務課
10	01	02	情報教育推進事業費	一人一台端末整備事業	13,717	8-4	教育総務課
10	01	02	特色ある学校づくり事業費	SDGs教育推進事業	595		学校教育課
10	04	03	文化財保存整備事業費	文化財情報閲覧システム構築事業	21,427		文化課
10	05	02	体育施設改修事業	体育施設LED化事業	35,042		生涯学習課

(基本目標②)人と人がつながり助け合うまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	07	市民協働まちづくり推進事業費	市民まつり事業	9,000	5-4	コミュニティ推進課
02	01	07	移住・定住促進事業費	空き家実態調査事業	10,087	5-5	コミュニティ推進課

(基本目標③)みんなの命と暮らしを守るまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	17	防犯灯管理費	防犯灯LED転換事業	18,000		危機管理課
09	01	02	非常備消防関係費	消防団装備整備事業	10,808		消防総務課
09	01	02	職員人件費	職員人件費(地域防災マネージャー)	3,997		危機管理課
09	01	03	消防施設整備事業費	防火水槽整備事業	16,490		消防総務課
09	01	03	消防施設整備事業費	通信指令施設更新事業	1,147		消防総務課
09	01	05	地域防災対策費	国土強靱化地域計画策定事業	120		危機管理課
09	01	05	地域防災対策費	運動公園災害備蓄物資整備事業	2,318	7-4	危機管理課

(基本目標④)健康で安心して暮らせるまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
03	01	04	特別会計関係費	介護保険事業	450		介護・高齢者支援課
04	01	02	予防接種事業費	予防接種事業(単独)	364		子育て支援課
04	01	03	休日・夜間急患センター管理運営費	休日・夜間急患センター非常用自家発電設備改修事業	19,666		健康づくり課

(基本目標⑤)ブランド糸島で活気あふれるまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	07	その他企画費	糸島産品販路拡大事業	6,800	9-2	ブランド政策課
06	02	01	耕作放棄地対策事業費	耕作放棄地対策事業	2,200	9-5	農地政策課
06	02	03	新規就農者支援事業費	新規就農者育成総合対策事業	46,815		農業振興課
06	02	03	担い手育成対策事業費	農業経営持続化支援事業	35,500	9-5	農業振興課
06	02	03	担い手育成対策事業費	スマート農業実装事業	30,000	9-5	農業振興課
06	02	03	その他農業振興費	地産地消応援団店舗利用促進事業	1,352		農業振興課
06	02	03	その他農業振興費	糸島産青果物輸出促進事業	2,947		農業振興課
06	02	03	その他農業振興費	直売所活性化事業	1,800	9-1	農業振興課
06	02	06	農業施設整備事業費	農業施設整備市単独事業	20,000	9-5	農地政策課
06	02	06	農業施設整備事業費	大塚溜池整備事業	11,100		農地政策課
06	02	06	農業施設整備事業費	ため池廃止事業	5,000		農地政策課
06	02	06	農業施設整備事業費	農村環境整備事業	19,036	9-5	農地政策課
06	02	06	土地改良事業関係費	市営土地改良事業	7,397	9-5	農地政策課
06	02	07	普通作振興費	主食用米活用事業	42,230		農業振興課
06	02	07	普通作振興費	水田農業担い手機械導入支援事業	39,900	9-5	農業振興課
06	04	02	その他水産振興事業費	水産業振興補助金事業	3,000	9-5	水産林務課
06	04	02	その他水産振興事業費	福岡県水産業振興対策事業	4,411	9-5	水産林務課
07	01	03	観光のまちづくり事業費	観光のまちづくり事業	2,982	9-2	ブランド政策課
07	01	03	観光のまちづくり事業費	着地型旅行商品造成事業	1,046	9-2	ブランド政策課
07	01	03	白糸の滝ふれあいの里管理費	白糸の滝ふれあいの里管理事業	4,928		ブランド政策課

(基本目標⑥)快適で住みよいまちづくり

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	10	再生可能エネルギー等推進事業費	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業	19,999		環境政策課
04	03	02	埋立処分施設管理運営費	クリーンセンター埋立飛灰再資源化調査事業	34,775		環境政策課
06	03	02	その他林業振興費	竹林整備促進事業	500		水産林務課
08	02	02	道路維持管理費	大型擁壁補修設計事業	5,000		建設課
08	02	03	道路整備事業費	前原潤線整備事業	23,004		建設課
08	02	03	狭あい道路整備事業費	田出浦線整備事業	14,100		建設課
08	04	01	計画事業費	都市計画道路変更図書作成事業	4,431		都市計画課
08	04	02	公園緑地管理費	大規模盛土擁壁補修設計事業	2,931		都市施設課
08	04	02	公園緑地管理費	公園遊具点検事業	1,874		都市施設課
08	04	02	公園緑地改修事業費	公園遊具設置事業	7,000	7-4	都市施設課

08	04	02	公園緑地改修事業費	子育て環境遊具設置事業	8,000	7-4	都市施設課
08	04	02	公園緑地改修事業費	公園緑地改修事業	4,162		都市施設課
08	04	03	駅関連施設管理費	駅関連施設管理事業	1,186		都市施設課
08	04	03	駅関連施設改修事業費	筑前前原駅南北トイレ改修事業	2,290	7-5	都市施設課
08	04	05	駅関連施設整備事業費	大入駅バリアフリー化推進事業	650	7-5	都市施設課
08	05	01	その他住宅管理費	住宅管理一般経費	3,761		都市施設課
13	01	01	下水道費	下水道事業補助金	15,000		財政課

行政経営戦略

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	01	職員研修費	職員研修費(ジョブトレーナー制度導入分)	80	6-1	総務課
02	01	01	その他一般管理費	入札契約関連事務システム導入事業	7,866	6-3	財政課
02	01	07	協定締結大学等連携推進事業費	協定締結大学等連携事業	8,255	11-5	学研都市づくり課

・行政経営戦略は、基本目標等を実現するための下支えとして、経営的・戦略的な行政運営を展開するものです。

重点課題プロジェクト

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
03	01	04	シニアマッチングサービス事業費	シニアマッチングサービス事業	3,783	3-3	介護・高齢者支援課
09	01	05	地域防災対策費	防災教育推進事業	17,611	1-4	危機管理課

・重点課題プロジェクトは、まちづくりの分野に捉われず、横断的に5つの重点課題の解決を進めるものです。

※公約実現化のための事業の詳細については、「公約実現化プラン」をご参照ください。

2 国の令和4年度予備費等に伴う事業

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
03	01	01	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	45,075		福祉保護課
04	01	02	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	225,094		健康づくり課

3 その他の事業 (一部抜粋)

(単位:千円)

款	項	目	予算書掲載事業名	事業名	予算額	公約No.	所属課
02	01	17	コミュニティ推進事業費	自治総合センターコミュニティ助成事業	5,000		コミュニティ推進課
02	01	16	コミュニティセンター改修事業費	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業	14,398		コミュニティ推進課
04	01	02	予防接種事業費	予防接種事業(子宮頸がん予防ワクチン接種等)	26,186		子育て支援課
04	01	02	その他保健予防費	自宅療養者等支援事業	2,423		健康づくり課
04	03	02	ごみ焼却処理施設管理運営費	ごみ焼却処理施設維持管理事業	137,635		環境政策課

■補正予算の状況

<歳入の状況>

(単位：千円、%)

款 名		令和4年度			令和3年度		R4－R3	
		6月(第3号) 補正予算額	補正後予算額		当初予算額		増減額	増減率
				構成比		構成比		
1	市税		9,881,328	22.0	9,426,411	23.4	454,917	4.8
2	地方譲与税		352,322	0.8	340,555	0.8	11,767	3.5
3	利子割交付金		6,300		6,385		△ 85	△ 1.3
4	配当割交付金		34,000	0.1	34,975	0.1	△ 975	△ 2.8
5	株式等譲渡所得割交付金		30,100	0.1	30,192	0.1	△ 92	△ 0.3
6	法人事業税交付金		75,000	0.2	36,031	0.1	38,969	108.2
7	地方消費税交付金		1,870,000	4.2	1,844,055	4.6	25,945	1.4
8	ゴルフ場利用税交付金		79,000	0.2	59,086	0.1	19,914	33.7
9	環境性能割交付金		54,000	0.1	19,060	0.1	34,940	183.3
10	地方特例交付金		122,000	0.3	220,624	0.5	△ 98,624	△ 44.7
11	地方交付税		8,223,000	18.3	7,048,558	17.5	1,174,442	16.7
12	交通安全対策特別交付金		15,000		15,000			
13	分担金及び負担金	1,649	191,741	0.4	198,427	0.5	△ 6,686	△ 3.4
14	使用料及び手数料		615,669	1.4	609,699	1.5	5,970	1.0
15	国庫支出金	467,283	8,485,771	18.9	7,225,706	17.9	1,260,065	17.4
16	県支出金	88,807	4,167,058	9.3	4,058,188	10.1	108,870	2.7
17	財産収入		75,791	0.2	93,154	0.2	△ 17,363	△ 18.6
18	寄附金		2,005,500	4.5	1,105,500	2.8	900,000	81.4
19	繰入金	465,946	3,005,753	6.7	2,545,288	6.3	460,465	18.1
20	繰越金		200,000	0.5	200,000	0.5		
21	諸収入	27,115	369,247	0.8	322,995	0.8	46,252	14.3
22	市債	67,700	5,085,200	11.3	4,891,540	12.1	193,660	4.0
歳入合計		1,118,500	44,943,780	100.0	40,331,429	100.0	4,612,351	11.4

※表示単位未満を端数処理しているため、構成比の合計が一致しないことがあります。

<歳出の状況:目的別(款別)>

(単位:千円、%)

款名		令和4年度			令和3年度		R4－R3	
		6月(第3号) 補正予算額	補正後予算額		当初予算額		増減額	増減率
				構成比		構成比		
1	議会費		254,516	0.6	262,547	0.7	△ 8,031	△ 3.1
2	総務費	105,059	8,472,898	18.9	6,348,307	15.7	2,124,591	33.5
3	民生費	62,514	17,736,786	39.5	17,007,966	42.2	728,820	4.3
4	衛生費	449,652	4,030,595	9.0	2,907,572	7.2	1,123,023	38.6
5	労働費		20,735		20,792	0.1	△ 57	△ 0.3
6	農林水産業費	274,289	1,751,805	3.9	1,742,569	4.3	9,236	0.5
7	商工費	8,956	388,992	0.9	200,395	0.5	188,597	94.1
8	土木費	78,389	1,490,924	3.3	1,689,218	4.2	△ 198,294	△ 11.7
9	消防費	50,769	1,260,194	2.8	1,427,770	3.5	△ 167,576	△ 11.7
10	教育費	74,303	3,338,358	7.4	3,537,267	8.8	△ 198,909	△ 5.6
11	災害復旧費		21,000		20,000		1,000	5.0
12	公債費		3,081,749	6.9	3,000,394	7.4	81,355	2.7
13	諸支出金	15,000	3,025,966	6.7	2,116,739	5.3	909,227	43.0
14	予備費	△ 431	69,262	0.2	49,893	0.1	19,369	38.8
歳出合計		1,118,500	44,943,780	100.0	40,331,429	100.0	4,612,351	11.4

※表示単位未満を端数処理しているため、構成比の合計が一致しないことがあります。

＜基金の状況：基金繰入の状況＞

(単位：千円)

区 分	平成30年度 6月補正後	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算	令和3年度 当初予算	令和4年度 6月(第3号)補正後
財政調整基金	791,000	692,000	922,000	471,000	714,000
公共施設等総合管理推進基金	0	0	0	862,039	366,833
その他特定目的基金	491,755	498,511	546,641	1,212,049	1,880,503
合 計	1,282,755	1,190,511	1,468,641	2,545,088	2,961,336

＜基金の状況：基金残高の状況＞

(単位：千円)

区 分	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額
財政調整基金	5,869,081	5,687,421	5,811,586	6,800,471	6,099,671
公共施設等総合管理推進基金	3,685,507	3,692,894	3,712,975	3,527,510	3,169,477
減債基金	101,965	101,975	101,986	463,340	463,343
その他特定目的基金	598,291	922,090	1,718,640	2,364,161	2,549,035
合 計	10,254,844	10,404,380	11,345,187	13,155,482	12,281,526

＜市債の状況：市債発行額の状況＞

(単位：千円)

区 分	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額
市債発行額	2,689,531	1,788,679	2,586,404	4,060,777	5,965,422
うち臨時財政対策債	1,102,231	881,479	900,594	1,318,799	527,000
うち合併推進債	100,400	173,600	158,300	1,300,500	3,357,500

※令和4年度市債発行額は、令和3年度繰越に係る地方債の借入予定額を含みます。

＜市債の状況：市債残高の状況＞

(単位：千円)

区 分	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額
市債残高	29,741,387	28,151,571	27,888,317	29,094,013	32,093,990
うち臨時財政対策債	15,193,441	14,905,252	14,620,050	14,678,255	13,914,383
うち合併推進債	1,131,258	1,116,722	1,128,844	2,292,370	5,514,987

＜補正予算の主な事業(款別)＞

【一般会計；歳出】

2 款 総務費

◆ P 18～19 職員研修費 8万円

新規採用職員ができるだけ早く職場に適応し、安心して能力を発揮するため、特定の職員が新規採用職員の支援を行うジョブトレーナー制度を試行導入します。(総務課)

◆ P 18～19 その他一般管理費(国1/2) 786万6千円

入札参加資格審査申請システム、電子入札システムを導入します。(財政課)

◆ P 18～19 市民協働まちづくり推進事業費 900万円

地域経済の活性化や「住んで良かった、ずっと住み続けたい」と思える機運を更に醸成するため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した市民まつりを開催します。(コミュニティ推進課)

◆ P 18～19 協定締結大学等連携推進事業費 825万5千円

連携協定を締結している九州大学等の知的資源を活用した研究により、行政課題や地域課題の解決を図ります。(学研都市づくり課)

◆ P 18～19 移住・定住促進事業費 1,008万7千円

人口減少地域における居住の受け皿を確保するとともに、管理が懸念される市内全域の空き家物件を適正に管理するため、空き家の実態調査とデータベースを作成します。(コミュニティ推進課)

◆ P 18～19 その他企画費 855万8千円

小中学生、高校生、大学生で構成するいとしま SDGs 探検隊が、先進的な取り組みを行う市民や事業者等取材し、SDGs の理解促進と実践的な取り組みを発信していきます。

また、糸島産品の国内外への販路拡大を目指し、海外への試験輸出やプロモーション、市内事業者向けの研修会を実施します。(糸島産品販路拡大事業(国10/10))
(情報政策課、ブランド政策課)

◆ P 18～19 再生可能エネルギー等推進事業費(国10/10) 1,999万9千円

2050 年までの脱炭素社会を見据え策定した地域再生可能エネルギー導入戦略を具現化するための施策の実証、実装に向けた調査研究や技術支援等の業務を委託します。(環境政策課)

◆ P 18～19 コミュニティセンター改修事業費(国10/10) 1,439万8千円

国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を活用し、前原南コミュニティセンターに太陽光発電設備(10.5kW)を設置します。(コミュニティ推進課)

◆ P18～19 防犯灯管理費 **1,800万円**

二酸化炭素排出削減と夜間の安全性向上を進めるため、防犯灯のLED転換事業を行います。
(危機管理課)

◆ P20～21 コミュニティ推進事業費 **500万円**

地域コミュニティ機能の維持、活性化を推進するため、自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用したコミュニティ活動に必要な備品の購入等の助成を行います。
《福井区自治会、松国区自治会》 (コミュニティ推進課)

3 款 民生費

◆ P20～21 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費及び事務費 (国10/10) **4,507万5千円**

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化を受けて、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限が令和4年8月末までに延長されたため、自立支援金等を増額します。
(福祉保護課)

◆ P22～23 シニアマッチングサービス事業費 **378万3千円**

元気な高齢者の活躍の場を提供できる団体・組織と、活動を希望する高齢者とをつなぐマッチングシステムの機能強化を進めます。
(介護・高齢者支援課)

◆ P22～23 あごら管理運営費 **232万円**

屋外電気室高圧機器の改修工事を行います。
(介護・高齢者支援課)

◆ P22～23 待機児童緊急対策事業費 **324万円**

市内保育所等に勤務している常勤保育士で、自ら奨学金返済をしている保育士に奨学金返済に要した費用の一部を補助します。
(子ども課)

4 款 衛生費

◆ P24～25 母子保健事業費 **350万9千円**

糸島市内に住民票がある生後1か月未満の新生児を対象に聴覚検査費用を助成します。
(子育て支援課)

◆ P24～25 予防接種事業費 **2,655万円**

子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種を実施します。
また、造血細胞移植後、医師の判断により定期の予防接種A類疾病ワクチンの再接種が必要と認められた方の再接種費用を補助します。〈造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種補助金(県1/2)〉
(子育て支援課、総務課)

◆P24～27 新型コロナウイルスワクチン接種事業費及び職員人件費（国10/10）

2億2,509万4千円

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種や、小児予防接種委託料の独自加算に対応します。
（健康づくり課、総務課）

◆P26～27 休日・夜間急患センター管理運営費

1,966万6千円

老朽化した非常用自家発電設備の更新を行います。

（健康づくり課）

◆P26～27 ごみ焼却処理施設管理運営費

1億3,763万5千円

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に加え、世界情勢の急変に伴い、ごみ焼却処理に必要なコークス等の需給バランスが崩れ、市場価格が高騰しているため、燃料費を増額します。
（環境政策課）

◆P26～27 埋立処分施設管理運営費

3,477万5千円

クリーンセンター施設稼働期間の延長のため、地元行政区と締結した覚書に基づき、最終処分場内の埋立飛灰の持出しに向けた再資源化処理等に係る調査研究を実施します。
（環境政策課）

6 款 農林水産業費

◆P28～29 新規就農者支援事業費（一部国県10/10）

4,681万5千円

新規就農者の一層の確保と定着を図るため、経営開始資金や機械・施設等の導入資金の一部を補助します。
（農業振興課、総務課）

◆P28～29 担い手育成対策事業費

6,550万円

販売農家に対する機械・設備導入費用の一部を補助します。また、JAが実施する自動操舵補助装置等のリース事業の導入経費を補助します。〈農業経営持続化支援事業（国28%）、スマート農業実装事業（国10/10）〉
（農業振興課）

◆P28～29 その他農業振興費

609万9千円

糸島産青果物の輸出拡大に向け、糸島市（JA）が主体となるサプライチェーン構築のための調査を補助します。また、地産地消応援団店舗の利用を促進するための事業を行うほか、市内直売所の機能拡充と活性化のための対象経費を補助します。〈地産地消応援団店舗利用促進事業、糸島産青果物輸出促進事業（国10/10）〉
（農業振興課）

◆P28～29 農業施設整備事業費（一部県補助）

5,513万6千円

老朽化した農業用施設（水路、井堰、ため池等）の改良工事を行い、維持管理の軽減と農作業の効率化を図ります。
（農地政策課）

◆P28～29 普通作振興費（国県10/10）

8,213万円

米価の下落を防ぐため、糸島産米の一部を購入し、生活困窮者の食糧支援等に活用します。

また、生産コストの低減に積極的に取り組む担い手を育成するため、高性能農業機械の導入経費を一部補助します。
(農業振興課)

◆ P 30～31 その他水産振興事業費 741万1千円

沿岸漁業の漁獲量の維持・向上を図るため、販売価格の高い種苗（クルマエビ、クロアワビ等）の放流を補助します。また、共同利用施設等の整備費に補助します。
(水産林務課)

7 款 商工費

◆ P 30～31 観光のまちづくり事業費 402万8千円

三密を避けた新しい旅行スタイルを推進するため、自転車による市内の観光周遊モデルルートを作成します。
(ブランド政策課)

8 款 土木費

◆ P 32～33 道路維持管理費 500万円

大規模盛土擁壁を適正に維持するために擁壁の点検と補修箇所の設計を実施します。
(建設課)

◆ P 32～33 道路整備事業費（国1/2以内） 2,300万4千円

歩行者の安全性及び車両の利便性を図るため市道前原潤線を整備します。
(建設課)

◆ P 32～33 狭あい道路整備事業費（国1/2以内） 1,410万円

緊急車両の通行に支障がある市道田出浦線を整備します。
(建設課)

◆ P 34～35 計画事業費 443万1千円

県の方針に基づく都市計画道路の検証により見直し候補となった2路線について、関係機関との協議資料や都市計画変更図書作成の費用を計上します。
(都市計画課)

◆ P 34～35 公園緑地管理費 480万5千円

大規模盛土擁壁を適正に維持するために擁壁の点検と補修箇所の設計を実施します。また、公園遊具の安全性を確保するため日常点検に加え、専門業者による定期点検を行います。
(都市施設課)

◆ P 34～35 公園緑地改修事業費 1,916万2千円

子育て環境を充実させるため小中学校区に公園遊具を設置するほか、公園遊歩道の改修を行います。
(都市施設課)

◆ P 34～35 駅関連施設改修事業費 229万円

筑前前原駅のトイレ改修工事の設計を行います。
(都市施設課)

◆ P 34～35 その他住宅管理費	376万1千円
市営住宅初団地の駐車場を整備します。	(都市施設課)

9 款 消防費

◆ P 34～35 非常備消防関係費	1,080万8千円
消防団活動の活性化を図るため、消防団装備（活動服、長靴）の充実を図ります。	(消防総務課)

◆ P 34～37 職員人件費	399万7千円
頻発化、大規模化する災害に対応するため、内閣府が定める防災行政に係る知識や経験を有する地域防災マネージャーを新規に1名配置します。	(危機管理課)

◆ P 36～37 消防施設整備事業費	1,763万7千円
防火水槽の新規設置及び改修工事を行います。また、住居表示変更に伴う通信指令室のシステム改修を行います。	(消防総務課)

◆ P 36～37 地域防災対策費	1,832万7千円
地域の防災力と災害対応力を高めるため、国の国土強靱化計画と連携した地域計画を有識者の意見を聴取し、策定します。	
また、子どもと保護者、地域の防災減災の意識と行動力を高め広げるため、学校や家庭、地域で活用できる防災教育ポータルサイトを立ち上げます。	
更に、大規模災害時に備え、避難者へ提供する食料、飲料水等の備蓄物資の更新を行います。	
〈地域防災対策事業（県10/10）、防災教育推進事業（国10/10）〉	(危機管理課)

10 款 教育費

◆ P 36～37 事務局費	1,471万1千円
永続的な施設管理を図ることを目的に小中学校22校分の学校施設図面の電子データ化を進めます。〈学校施設図面電子データ化委託（国10/10）〉	(教育総務課)

◆ P 36～37 情報教育推進事業費（国10/10）	1,313万7千円
児童生徒、教師に配布しているタブレット端末の破損分及び次年度の児童生徒数に応じた一人一台端末を整備します。	(教育総務課)

◆ P 38～39 特色ある学校づくり事業費	59万5千円
SDGs と世界を見据え、顕在する課題に対し、自分ごととして捉え行動できる児童生徒の育成を図るために、モデル校にカリキュラムを導入します。	(学校教育課)

◆P40～41 文化財保存整備事業費（国1/2） 2,142万7千円

市民や事業者、観光客の文化資源の利用促進を図るため、文化財情報（デジタルミュージアムや文化財包蔵地図等）のデジタル化を進めます。（文化課）

◆P40～41 体育施設改修事業費 3,504万2千円

二酸化炭素排出削減を進めるため、スポーツ振興くじ助成金を活用し、曲り田野球場夜間照明のLED化を行います。（生涯学習課）

13款 諸支出金

◆P42～43 下水道費 1,500万円

雨水対策事業費の増額に伴う一般会計から基準内の補助金を繰り出します。（財政課）

【一般会計：歳入】

（ ）は、所管課

15款 国庫支出金

◆P12～13 国庫補助金 2億7,141万5千円

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、デジタル田園都市国家構想推進交付金等（環境政策課、企画秘書課等）

16款 県支出金

◆P14～15 県補助金 8,747万3千円

水田農業担い手機械導入支援事業、新規就農者育成総合対策事業等（農業振興課等）

19款 繰入金

◆P14～15 基金繰入金 4億6,594万6千円

財政調整基金、ふるさと応援基金繰入金（財政課、企画秘書課）

21款 諸収入

◆P16～17 雑入 2,711万5千円

自治総合センターコミュニティ事業助成金、スポーツ振興くじ助成金等（コミュニティ推進課、生涯学習課等）

2 2 款 市債

◆P16～17 市債

6,770万円

防犯灯管理事業、体育施設改修事業、消防施設整備事業等

(危機管理課、生涯学習課、消防総務課等)

■第2表 債務負担行為補正 P6

追加 1件

■第3表 地方債補正 P7

追加 5件

変更 1件

《特別会計》

■介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 360万円

補正後予算総額 89億3,773万5千円

《公営企業会計》

■下水道事業会計補正予算（第1号）

(単位；千円)

収 入			支 出		
款	補正額	補正後額	款	補正額	補正後額
1 資本的收入	25,000	772,294	1 資本の支出	25,000	1,600,657

一般社団法人SVI推進協議会 第1弾実証プロジェクト

糸島サイエンス・ヴィレッジにおけるローカル5Gの環境整備について

ローカル5Gの実装が完了しました。

九州大学学術研究都市構想における分散型地域核「ほたる」の1つとして、糸島サイエンス・ヴィレッジの実現に向け取組を進める一般社団法人SVI推進協議会（代表理事：馬場貢（以下「SVI」という。））は、法人設立当初から計画していた、自己土地のみで活用できる第5世代移動通信（以下「ローカル5G」という。）の機器を糸島市の市有地（志摩馬場）に実装しました。

今回のローカル5Gは、SVIが九州大学の知的資源の活用をはじめ、幅広く新技術を実用化・事業化につなげ、研究・産業集積や交流創出を実現するための個別プロジェクトの1つとなります。

1. SVIの設立について

- 令和3年10月1日に、糸島市と九州大学や民間企業、金融機関（産学金官）が一体となって「糸島サイエンス・ヴィレッジ」を実現するため、SVIを設立。
- さまざまな識見を有する社員が、大学の知的資源をベースにした新しい技術等を実用化・事業化につなげるための個別プロジェクトを広く展開していくこととしている。

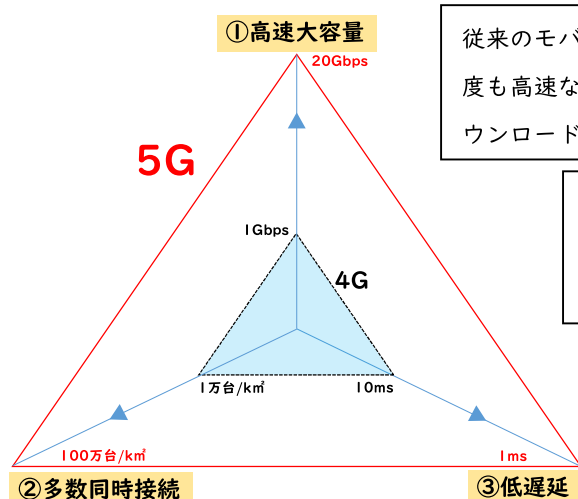


社員

福岡県糸島市
 国立大学法人九州大学
 エス・アイ・ピー(株)
 (株)ビットメディア
 (株)ブラケアジェネティクス
 DC Power Vil. (株)
 (株)西日本シティ銀行
 (株)ヴェントウーノ

2. ローカル5Gの「5G」とは？

- 5Gは、LTE-Advanced（4G）の次の世代となる第5世代移動通信システム。5Gは、「超高速」、「超低遅延」、「多数接続」という、3つの大きな特長を持つ。



従来のモバイル通信（LTE）に比べ、最大で100倍程度も高速なデータ通信が可能。大容量データの高速ダウンロードなどが実現可能に。

① 高速大容量

エリア内で多数の端末を同時に接続可能。工場などでは多数のセンサーや機器を同時につないで通信することもできる。

② 多数同時接続

通信の際に発生する遅延が、人間が知覚できないほど小さくなる。これにより、ロボットの遠隔操作や機械の遠隔制御などをより確に行うことが可能。

③ 低遅延

3. ローカル5Gの「ローカル」とは？

- ローカル5Gの「ローカル」は「エリア限定」という意味を持つ。
- 特定の土地（自己土地等）のみで活用することを目的に設置する5G機能の総称を「ローカル5G」と呼び、逆に各携帯電話会社が展開する5Gを「キャリア5G」と呼ぶ。

【ローカル5G 基地局】

全国 718 基地局（福岡県内 39 基地、うち 1 基地が糸島市）※令和 4 年 5 月現在

【ローカル5G 免許申請者】

全国 108 者（福岡県内 6 者、うち 1 者が SVI）※令和 4 年 3 月末時点

免許申請者のほとんどが、通信系、ケーブルテレビ系や大規模な工場を持つ企業であり、自治体に関係しているのは、5 者のみ（糸島市調べ）

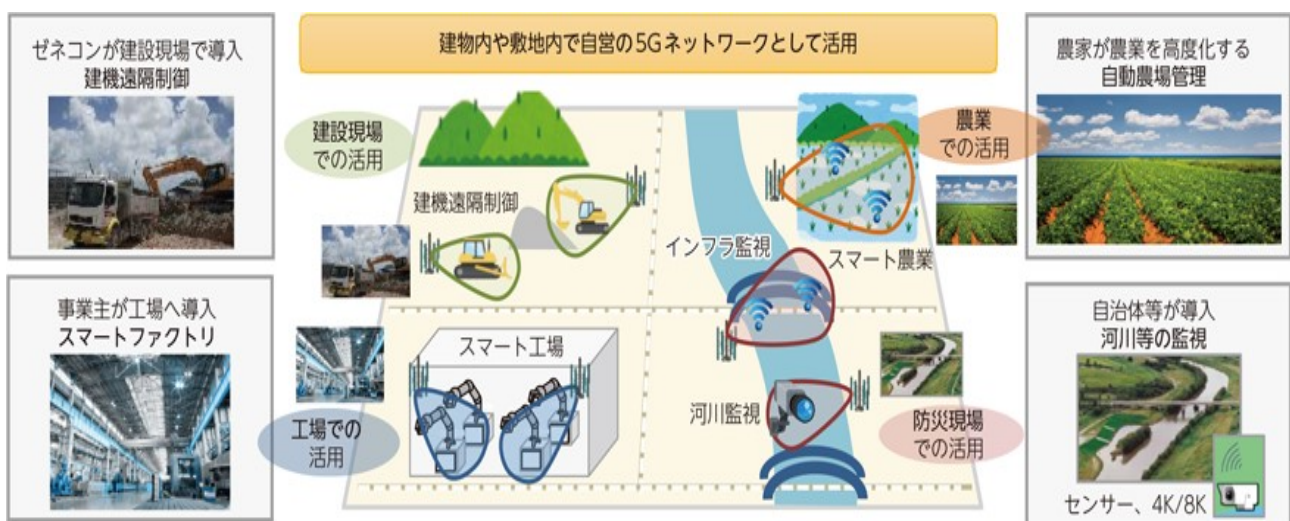
大学関係者や企業が実証実験を行うことができるローカル5GはSVI設置のみ

4. ローカル5Gの利点

- 独立したネットワークであること。
 - キャリア5Gのネットワークは多くの人々が利用するため、災害発生時や大規模イベントの際にネットワークが混雑し、輻輳（ふくそう）が発生し、接続しづらくなることもある。
 - 情報漏洩対策として強いセキュリティを求める企業も多く、例えば工場内のネットワークを外部のネットワークとは完全に切り離したいというニーズ等も少なからずある。
 - 外部環境に左右されないローカル5Gの存在は今後重要になってくる。
- 目的に特化した高度な無線通信システムの利用環境を柔軟に構築・利用できること。
 - ローカル5Gは、使用エリアの特性や産業分野毎の個別ニーズに対して、各々のセキュリティレベルや通信網構成を構築できる。

5. ローカル5Gの使用事例

- 現在、ローカル5Gは、さまざまな場所で地域・社会課題の解決等に主に実証レベルで活用されている。（実証事例は別紙①参照）



先進事例) 鹿児島堀口製茶(有) 「鹿児島お茶ローカル5 Gプロジェクト」

高齢化が進む農業の課題に対し、5 Gを活用した実証事例。自動茶摘みロボットを5 G環境下で遠隔一括管理。1台のカメラで周辺の映像を適宜送信しながら、遠隔地にいる管理者が監視し、不測の事態に制御できる仕組みを構築。

この自動運転で、農機の安全な制動・制遠隔監視でも問題なくロボット農機の安全運航が可能になったことが確認できました。

また、ドローンを使い、広大な面積の茶畑を撮影しながら状況を確認する、リモートセンシングを実施していく。

4 Gでは1秒当たり1枚の画像(約30万画素)しか伝送できないが、ローカル5 Gでは、画像(約200万画素)を1秒当たり30枚伝送可能となり、農機の遠隔制御の遅延に置き換えると、4 Gの1/5程度に抑えることができた。(本実証課題は、農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」(事業主体:農研機構)の支援により実施された。)



6. 実証エリア

○実証エリアとして、九州大学西側に隣接する、糸島市の所有土地(旧清掃センター跡地志摩馬場)を活用。



糸島市市有地のうち9,430 m²を活用。清掃センター運営時に管理棟として使用していた建屋も、最低限活用できるように改修。

7. ローカル5 G基地局設置の経緯と実証実験

○今年3月にSVIと日清紡ホールディングス株式会社(以下「日清紡」)が共同事業協定を締結。

○3月末に日清紡によって5 G機器の設置工事。日清紡は、5 G電波が当該敷地内できちんと届いているか、他の土地にはみ出していないかなどの実証実験を2年間行う。

○日清紡の系列企業である日本無線株式会社が開発したシミュレーションベースド・フレ

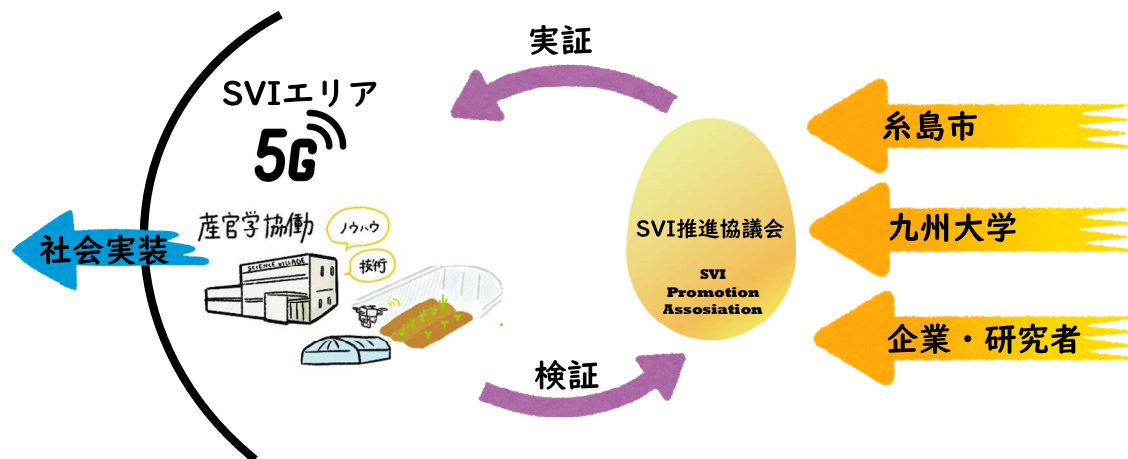


キシブル・アンテナ Simulation-based flexible antenna「SFA」を駆使することで、設計時にシミュレーションした複雑な形状のエリアに対して、実際に設計通りの効率的な電波利用が可能となることが特長。(別紙②参照)



8. 今後のローカル5G活用の流れ

- SVI の社員である九州大学と連携しながら、学内の各研究者に情報を提供し、そこで活用希望研究者を募る。(併せて、地元企業にも活用希望を募る予定)
- SVI と日本無線株式会社がサポートしながら、当該地で複数の実証実験等が展開される仕組みをつくる(下図参照)。
- その仕組みが確立できるまで、先行して九州大学の学生団体「QSIP (キューシップ)」が、環境計測装置の測定精度の確認や評価、菜園でのリアルタイム環境情報の可視化等の実証実験を行う。(別紙③参照)



9. 今後の糸島サイエンス・ヴィレッジに関して

- 今後は、ローカル5Gの実証実験を展開しながら、他のプロジェクトに関しても、第2弾、第3弾とSVIを中心に立ち上げを進めていく。
- 具体的なプロジェクトを実行することで、研究機関や企業、または研究者、学生、地元住民たちが集い、研究、実証、開発、そして交流機能を有した、糸島サイエンス・ヴィレッジを創造していきたい。

糸島市 経済振興部 学研都市づくり課
サイエンスヴィレッジ推進係
担当：姫野 中村 電話番号：332-2079
メール：gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

「令和3年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」実証事業企画一覧

1

採択された実証事業企画は以下（次頁含む）の26件です。各実証事業企画の概要については対応する頁をご覧ください。

分野	実証件名	代表機関	主たる実施地域	頁
農業	1 中山間地域でのEVOロボット遠隔制御等による果樹栽培支援に向けたローカル5Gの技術的条件及び利活用に関する調査検討※1	東日本電信電話株式会社	北海道浦臼町	3
	2 フリーストール牛舎での個体管理作業の効率化に向けた実証事業※1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	北海道常呂郡訓子府町	4
	3 新型コロナからの経済復興に向けたローカル5Gを活用したイチゴ栽培の知能化・自動化の実現※1	東日本電信電話株式会社	埼玉県深谷市	5
林業	4 ローカル5Gを活用した山間部林業現場での生産性向上および安全性向上のための実用化モデル検証	となみ衛星通信テレビ株式会社	富山県南砺市	6
工場	5 5G及びデータフュージョンによる熟練溶接士の技能の見える化及び遠隔指導の実証	PwCコンサルティング合同会社	神奈川県横浜市	7
	6 プラントの遠隔監視によるガス漏れ等設備異常の効率的検知の実現	広島ガス株式会社	広島県廿日市市	8
	7 中小企業における地域共有型ローカル5GシステムによるAI異常検知等の実証（ツウテック社工場）※2	株式会社愛媛CATV	愛媛県東温市	9
	8 中小企業における地域共有型ローカル5GシステムによるAI異常検知等の実証（ユタカ社工場）※2	株式会社愛媛CATV	愛媛県松山市	
発電所	9 ローカル5Gを活用した閉域ネットワークによる離島発電所での巡視点検ロボット運用の実現	株式会社正興電機製作所	長崎県杵岐市	10
空港・港湾	10 空港における遠隔監視型自動運転に向けた通信冗長化設計による映像監視技術の実現	東日本電信電話株式会社	千葉県成田市	11
	11 ローカル5Gを活用した操船支援情報の提供および映像監視による港湾内安全管理の取り組み	株式会社ZTV	三重県鳥羽市	12
	12 港湾・コンテナターミナル業務の遠隔操作等による業務効率化・生産性向上の実現	西日本電信電話株式会社	大阪府大阪市	13

※1：農林水産省『スマート農業加速化実証プロジェクト（ローカル5G）』と連携するもの

※2：別々にご応募頂いた案件で、提案内容に鑑み県内企業への横展開モデル創出のため連携事業として一体的に取り進めるもの

「令和3年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」実証事業企画一覧（続き）

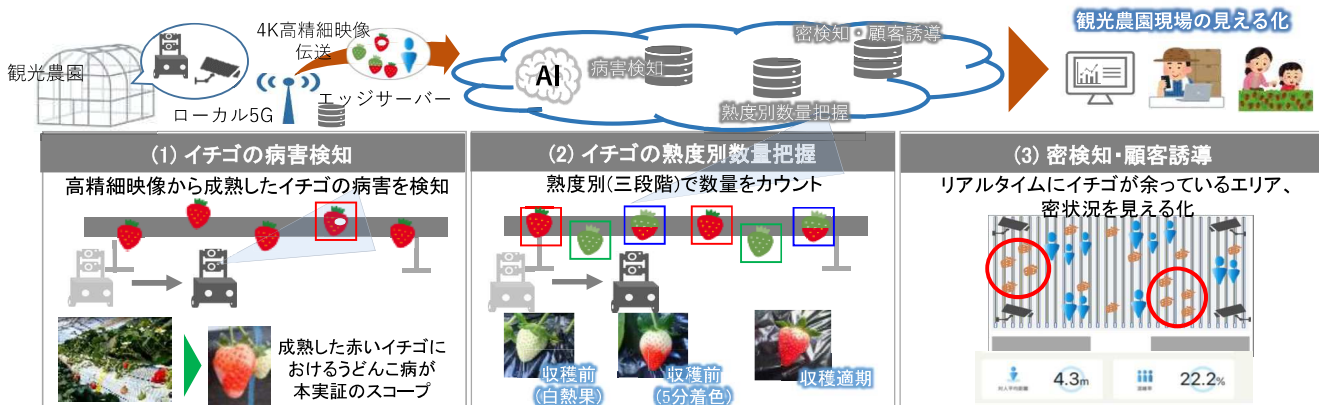
2

分野	実証件名	代表機関	主たる実施地域	頁
鉄道・道路	13 ローカル5Gを活用した鉄道駅における線路巡視業務・運転支援業務の高度化	住友商事株式会社	東京都目黒区	14
	14 ローカル5GとAI技術を用いた鉄道駅における車両監視の高度化	京浜急行電鉄株式会社	東京都大田区	15
	15 ローカル5Gを活用した高速道路トンネル内メンテナンス作業の効率・安全性向上に関する開発実証	エクシオグループ株式会社※1	岐阜県美濃市	16
建設	16 高速道路上空の土木建設現場における、安全管理のDX化に求められる超高精細映像転送システムの実現	清水建設株式会社	大阪府高槻市	17
交通	17 ローカル5Gを活用した遠隔型自動運転バス社会実装事業	一般社団法人 ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構	群馬県前橋市	18
スマートシティ	18 大型複合国際会議施設におけるポストコロナを見据えた遠隔監視等による安心・安全なイベントの開催	株式会社野村総合研究所	神奈川県横浜市	19
	19 スマートシティにおける移動体搭載カメラ・AI画像認識による見守りの高度化	株式会社社長大	奈良県三郷町	20
文化・スポーツ	20 スタジアムにおけるローカル5G技術を活用した自由視点映像サービス等新たなビジネスの社会実装	三菱電機株式会社	東京都文京区	21
	21 ローカル5Gネットワーク網を活用したコンサート空間内におけるワイヤレス映像撮影システムの構築	株式会社stu	東京都渋谷区	22
	22 共生社会を見据えた障がい者スポーツにおけるリモートコーチングの実現	株式会社電通九州	福岡県田川市	23
防災・減災	23 道路における災害時の被災状況確認の迅速化および平常時の管理・運営の高度化に向けた実証	中央復建コンサルタンツ株式会社	埼玉県越谷市	24
	24 富士山地域DX「安全・安心観光情報システム」の実現	NPO法人中央コリドー情報通信研究所	山梨県富士吉田市	25
	25 ローカル5Gを活用した災害時におけるテレビ放送の応急復旧	株式会社地域ワイヤレスジャパン	沖縄県浦添市	26
医療・ヘルスケア	26 大都市病院における視覚情報共有・AI解析等を活用したオペレーション向上による医療提供体制の充実・強化の実現	トランスコスモス株式会社	神奈川県川崎市	27

※1：株式会社協和エクシオは、2021年10月1日 エクシオグループ株式会社 に社名変更

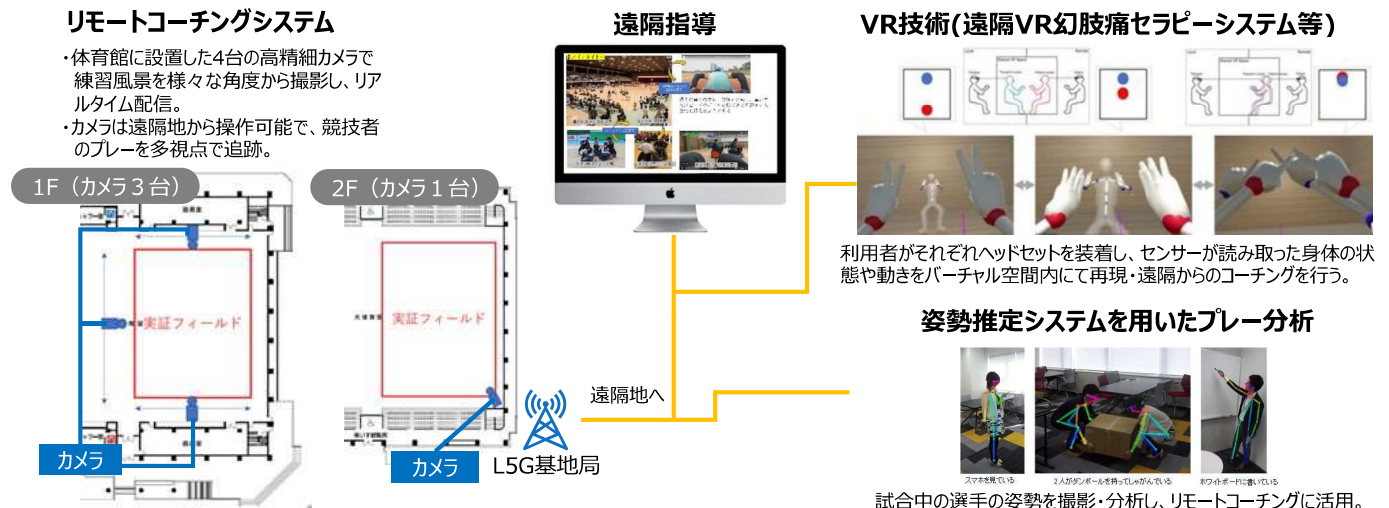
新型コロナからの経済復興に向けた ローカル5Gを活用したイチゴ栽培の知能化・自動化の実現

代表機関	東日本電信電話株式会社	分野	農業
実証地域	埼玉県深谷市（いちご畑） 茨城県つくば市（農研機構）	コンソーシアム	東日本電信電話(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、日本コムシス(株)、(株)いちご畑、GINZAFARM(株)、埼玉県大里農林振興センター、深谷市、花園農業協同組合、(株)NTTアグリテクノロジー、(株)武蔵野銀行、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
実証概要	施設園芸農業においては高齢化や新規就業者の減少による労働力不足に直面。特に観光農園においてはコロナ禍に伴う来園者減少によって収益の減少、生産者による収穫作業時間の増大という課題が存在。 ➢ 農場内にローカル5G環境を構築し、高精細4Kカメラを搭載した自立走行型ロボット及びAI画像解析によるイチゴの病害検知やイチゴの熟度別数量把握、その他ハウス内の密状況検知・顧客誘導の実証を実施。 ➢ ローカル5Gと最先端技術（ロボット、AI等）を活用した生産性の高い稼ぐ農業を実現。		
技術実証	➢ ビニールハウスの建物侵入損を考慮した電波伝搬モデルの精微化、ハウス内不感地帯への反射板の有効性検証、同期局と準同期局の離間距離に関する共用検討を実施。 ➢ 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋内		



共生社会を見据えた障がい者スポーツにおけるリモートコーチングの実現

代表機関	株式会社電通九州	分野	文化・スポーツ
実証地域	福岡県田川市 (田川市総合体育館)	コンソーシアム	(株)電通九州、富士通Japan(株)、富士通(株)、(株)電通国際情報サービス、(株)NEWTRAL、田川市、(一社)D-beyond
実証概要	障がい者スポーツの普及促進に向けては指導者不足や指導が困難といった課題が存在。 ➢ 体育館にローカル5G環境を構築し、多視点カメラ映像やVR技術(遠隔VR幻肢痛セラピーシステム等)、姿勢推定システムを活用した車いすラグビーのリアルタイムなリモートコーチングに関する実証を実施。 ➢ 障がい者スポーツのスキル向上及びコーチング技術の高度化・多様化を実現。		
技術実証	➢ 体育館等の中規模スポーツ施設における建物進入損の影響を考慮した電波伝搬モデルの精緻化を実施 ➢ 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋内		



2022 年 5 月 26 日

ローカル 5 G 基地局を糸島サイエンス・ヴィレッジに開局 ～DX による社会課題解決に向け、ローカル 5 G ビジネス参入へ向け本格化～

福岡・糸島市と同時リリース

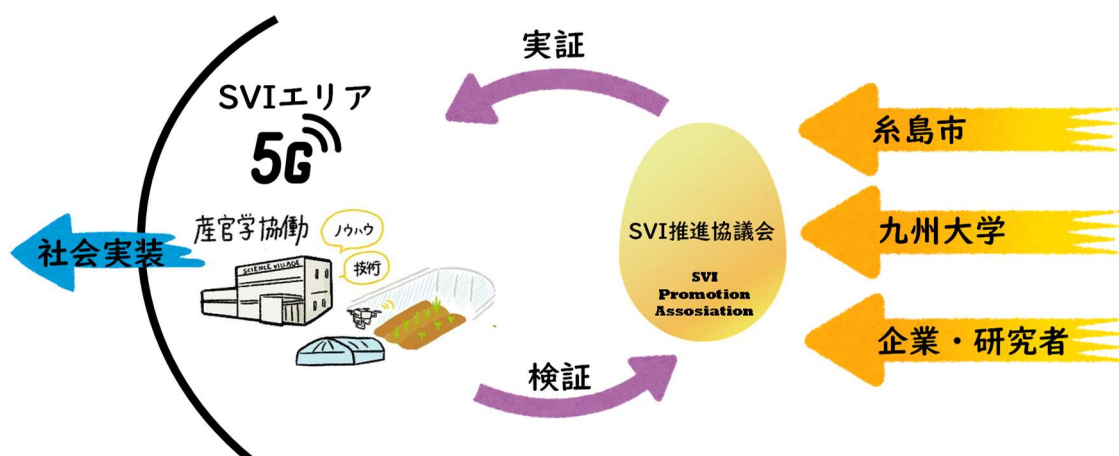
日清紡ホールディングスは、4 月 1 日、九州大学と福岡県糸島市が推進する糸島サイエンス・ヴィレッジ※にローカル 5 G 基地局を開局し、通信を開始いたしました。

ローカル 5 G は、エリアを限定して利用する次世代の高速通信技術です。産業分野ごとの個別ニーズに対して、セキュリティレベルや通信の安定性を担保する等の柔軟な構築・利用ができることから、さまざまな地域での社会課題の解決に向けた活用が期待されています。今後 DX が進む中で、大容量のデータやリアルタイムの要求が増え、多様な社会課題に対し、様々なアプリケーションが必要とされていきます。

今後、糸島サイエンス・ヴィレッジで企画していく複数のプロジェクトや実験を通じ、ローカル 5G の有効性を評価していきます。その上で日清紡グループは、ローカル 5 G をデジタル社会の新たなインフラに立脚したサービスとなることを目指し、基地局提供を柱とするローカル 5 G ビジネスを 2023 年より展開していく計画です。

※ 「糸島サイエンス・ヴィレッジ」とは、

福岡県糸島市に地域内外の研究者や民間事業者、学生、さらには地元住民等が交流する知的創造・研究交流拠点を構築する構想の総称で、一般社団法人 SVI 推進協議会が中心となり、新しい技術等を実用化・事業化につなげるために企業や研究所の立地を促進しています。



屋外におけるローカル5 Gサービス展開にあたっては、自己土地の境界における電波干渉を避けることが課題のひとつとなります。提供したローカル5 G基地局は日本無線が開発したシミュレーションベースド・フレキシブル・アンテナ（SFA：Simulation-based flexible antenna）を駆使して、ローカル5 Gサービス提供エリアの柔軟かつ自在な基地局設計に対応、設計時にシミュレーションした複雑な形状のエリアに対して、実際のエリアにおいて設計通りの効率的な電波利用を可能とするものです。

今回、SFAにより糸島サイエンス・ヴィレッジの自己土地の形状に合わせた電波放出を実現し、自己土地外への電波干渉を避けつつ、自己土地内での5 G利用を可能とすることを実現しました。

シミュレーション結果



実測結果



□ 自己土地範囲 ● ローカル 5G 基地局
■ カバーエリア ■ 調整対象区域 弱 電波強度 強

糸島サイエンス・ヴィレッジに設置したローカル5 G基地局の諸元は次のとおりです。

項目	仕様
使用する周波数	4.8-4.9GHz
システム構成	スタンドアローン構成
下り変調方式	QPSK/16QAM/64QAM/256QAM
上り変調方式	QPSK/16QAM/64QAM
空間多重	下り 4x4 MIMO

以上

手作り計測機器を用いたローカル5G下での安価な環境計測システムの構築

地域内で使用可能な環境情報(気温, 湿度, 照度など)を収集・管理するシステムを作成することで, メッシュデータの補完となるシステムの構築, 地域内での効果的な農業の展開に貢献する.



糸島地域内での効果的な農業の展開に貢献

2022.5.10 QSIP
(QU Sixth Industrial Project)



実証実験スケジュール

1. 単一測点での環境計測.
計測装置の測定精度, 期間の評価

期間: 2022/5 ~ 2022/12

2. 多測点での環境計測.
糸島サイエンスヴィレッジ
圃場でのリアルタイムで環境情報の可視化できるシステムの構築

期間: 2023/3 ~ 2023/12

“多様な文化を理解し、ともに生きるために” 小中学校指導資料「人権教育の手引き4」発行

～ 糸島市多文化共生推進計画基本理念「お互いを理解し、みんなでつくる多文化共生の
まち糸島」の実現に向けた、小中学校での教員用指導資料として作成～

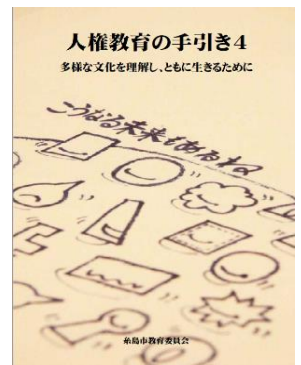
■ 指導資料作成の経緯

○糸島市の外国人市民は2015年の665人から2019年の1,248人と倍増（住民基本台帳）

○外国から来られ支援を必要とする児童・生徒も見られ、子どもたちが日常的に外国人と接する機会も増加



外国人がもつ異なる文化を正しく理解し、ともに生活していく上で必要となる資質や能力を育てる教育が必要となり、令和2年の「糸島市多文化共生推進計画」策定を機に、教員向けの指導資料として作成



「人権教育の手引き4」

■ 構成（3部構成）

I部 認識を確かなものに

糸島市個人権課題の外国人に関わる現状と課題、国際化に関する市民意識、教育における取り扱いの必要性等を掲載

II部 豊かな学びを

小学校から中学校までの発達段階（小学校低、中、高学年・中学校）に則して「多文化理解」「豊かな人間関係づくり」「課題解決」「未来創造」の観点から指導事例を掲載

III部 学習資料

外国にルーツを持つ関係者の生の声、糸島市ならではの学習素材など、身近なコンテンツを資料として掲載

■ 作成過程

- ・ 作成委員会設置 市内小中学校教員、糸島市教育委員会指導主事で構成
- ・ 市内小中学校における指導実践例の収集 ・ 関係者への聞き取り

■ ポイント

○ 「多文化共生」をテーマにした教員用指導書は、福岡県内に類を見ない

- 個別の人権課題解決に向けた指導手引きの第4弾。シリーズ化で人権教育を独自に深化
 - 手引き1「がいじ発言への対応と指導」（平成27年）
 - 手引き2「ネットトラブルに対応できる人間関係づくりをめざして」（平成30年）
 - 手引き3「多様な性を理解し、ともに生きるために」（平成30年）
- 教員の感想として「自分自身の人権課題への意識が深まった」「子どもの実態に応じた授業の改善ができる」などあがっている。

いこっか事業

「中学生と九大留学生による課題解決ワークショップ」開催

「糸島市九州大学国際村構想」の実現に向けて、市民の多文化共生に対する意識醸成やグローバルな目線で物事を考える機会の創出、また、コロナ禍で進む九大留学生の孤独感解消のため、市内中学生と九大留学生との交流事業を開催します。

中学生が外国人留学生とのコミュニケーションを通じ、異文化を知り、相手を理解し、自分の気持ちを伝え、伝わった時の喜びを感じてもらうことを目的に実施するワークショップです。

■概要

九大留学生と市内中学生が英語に親しみながら交流し、中学生の視点で課題解決を図り、同時に、多文化共生社会を考えるワークショップ（全4回）です。

資源循環の勉強会、コンポストづくり、堆肥を使った種まき体験を通して、中学生が環境問題について自分たちにできることを考える内容になっています。

このワークショップは、今年度初めて開催するもので、糸島に居ながら世界に触れることができる「九州大学があるまち糸島市」ならではのユニークな交流事業です。



九州大学コンポストプロジェクトのメンバー

■内容等

○日時・内容

回	日にち	内容
第1回	5月28日	オリエンテーション、自己紹介、循環型社会の勉強 など
第2回	6月11日	コンポスト作り、前回ワークの英語発表 など
第3回	9月10日	堆肥を使った種まき、発表会に向けての英文作成 など
第4回	10月15日	英語での発表会と外国人の困りごとなどの意見交換会

※各回とも、土曜日の15時00分～17時00分

※新型コロナウイルス流行状況により、中止または内容が変わる可能性あり。

○会場：糸島市役所1号会議室（第1～3回）、セトルグローバルホテル糸島（第4回）

○参加費：無料

○対象者：糸島市内に住む中学生20人（先着順）

※第4回目は保護者が発表を参観できるよう検討中

○その他の参加者：九大留学生10人、循環型社会について考える九大学生サークル「九州大学コンポストプロジェクト（QCOM）」4人程度

【問い合わせ先】

経済振興部 学研都市づくり課 大学連携推進係
担当：徳永・吉岡・戸川 TEL：092-332-2079
メール：gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

糸島発の映画製作で地域活性化の一助に

糸島映画「猫の記憶」製作スタート！



糸島市在住のマルチクリエイター・濱洋一氏が、地域活性化の一助になって欲しいという願いを込めて、糸島映画製作所を立ち上げ、糸島映画「猫の記憶」を製作されます。市内各所において6月に撮影を行います。

詳しくは、別紙資料をご参考ください。

1. 映画の概要

- ・タイトル 「猫の記憶」
- ・製作 糸島映画製作所
- ・出演者 金子みゆさん（LinQ）、山下晶さん、早見優さん
- ・制作協力 RKB 毎日放送
- ・後援 糸島市、糸島市教育委員会
- ・協力 (株)イトキュー グローカルホテル糸島 スターフライヤー
- ・上映時間 90分予定

●糸島映画製作所とは

糸島在住の濱洋一氏が、豊かな自然や風景がある糸島から映画を発信したいと「糸島映画製作所」を立ち上げた。

地元（福岡県又は糸島市）を中心に人材育成を行うとともに、SDGsをテーマとしたエンターテインメント活動を行い、地域活性化の一助となっていきたい。

2. 監督・脚本・撮影・編集・音楽

濱洋一（はま・よういち）氏

音楽プロデューサー、写真家、映像作家。

別名義は「H（eichi）」無名だった中島美嘉を発掘。

長崎県佐世保市出身、糸島市荻浦在住 59歳。

糸島市イメージキャラクター「いとゴン」テーマ曲 『いとゴンのシマ』の作詞家



3. スケジュール（予定）

- ・2022年 6月7日～16日 糸島市内（白糸の滝や芥屋地区など）にて撮影
- ・2022年 9月 完成
- ・2022年 11月 完成披露（関係者 @糸島市）
- ・2022年 12月～ 上映会イベント開催

4. 市の役割

撮影や映画を通して、糸島の魅力を発信することを目的に撮影や情報発信などの支援をしています。

【問い合わせ】

経済振興部 ブランド政策課 観光振興係

担当：長谷川

TEL：直通：092-332-2080 内線：1281

メール：brand@city.itoshima.lg.jp

糸島映画「猫の記憶」



製作 糸島映画製作所

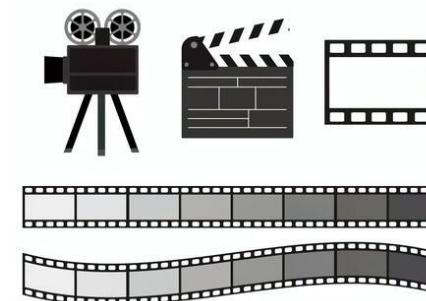
企画協力 RKB毎日放送株式会社 メディアイノベーションセンター

2022年5月26日

糸島発の映画製作で地域活性化の一助に



2021年の「世界で最も魅力的な小都市」ランキングで世界3位!に
ランクインした糸島市。アンケートを実施した情報誌によると
「糸島市は豊かな自然が残り、サーフィンやハイキングスポットがあり
また海の幸や農産物が豊富でありながら、都市への交通アクセスが良く
質の高い生活を満喫できる」と評価されています。また「クリエイティブな
人々が集まり面白いビジネスが生まれている」とも表現されています。
まさにそのクリエイティブな人・糸島市在住のマルチクリエイター濱洋一が
ついに糸島で映画を製作。**地域活性化の一助になるべく動き始めました。**



企画概要



◆タイトル 「猫の記憶」

◆監督・脚本・撮影・編集・音楽

濱洋一（はま・よういち）

音楽プロデューサー、写真家、
映像作家。別名義は「H(eichi)」
無名だった中島美嘉を発掘。
茉奈佳奈を歌手デビューさせた。
長崎県佐世保市出身



◆スケジュール（予定）

2022年 6月7日～16日 撮影

2022年 7月 オフライン編集

2022年 9月 完成

2022年11月 完成披露（関係者 @系島市）

2022年12月～上映会イベント開催

◆製作 系島映画製作所

◆制作協力 RKB毎日放送

◆上映時間 90分（予定）

◆後援 系島市、系島市教育委員会

◆協力 イトキュー グローカルホテル系島 スタッフライヤー



作品概要

◆あらすじ

系島市に住む藤崎家の末っ子・紫音は自然豊かな系島市で暮らす活発な女子高生。しかし紫音は藤崎夫婦の実の子ではなかった。6月のある日、猫と一緒に捨てられていたのを拾われた子だったのだ。しかし兄や姉にも可愛がられ、すくすく育った。

そんな紫音は高1の春、交通事故に遭い、死の淵を彷徨う。紫音は事故で強い衝撃を受けたせいか、猫と過ごした記憶が蘇り、一緒に捨てられていた猫の行方を探すことに。果たして紫音は真相に辿り着くのか？そして家族との関係に変化は訪れるのか？



出演者



主演 藤崎紫音
金子みゆ (LinQ)



藤崎大二郎
山下晶



藤崎久美子
早見優



出演者



藤崎音二郎
荒木ロンペー



藤崎華音
北原帆夏



友納智
戸塚有輝



川原慎吾
斗哉



楠木藍子
宮本たたみ



飯塚真那斗
林純一郎



ゼッツー
シラス (猫)

お問い合わせ



RKB毎日放送 メディアパートナー 柴田
TEL 092-852-6606
メール shibata@rkb.ne.jp
公式Instagram NEKO.NO.KIOKU
公式Twitter @itoshimafilm

★現在、クラウドファンディングも実施中です。詳しくはこちらから！

